

産で痛くて苦しいときなどにも使えばよくなりますよ。近所の人たちにも教えて、早くよくなつてください。」

といって、たもとから一握ひとつかまりの麻種あさを取り出して、老婆に手渡しました。

お坊さんの言葉通りに、朝、麻種あさをまき、大きく育つた麻あさでひもをつくり、はぢまきに  
して用いたら、みんながよくなったということでした。

それから、麻生あそうという名がついたといわれております。